

『囲碁大会で全国大会出場！』

6月14日(土)、鹿児島市の愛基本部道場で『第29回南日本少年少女囲碁大会』が行われ、小学生の部で津曲健太郎君(大崎小学校6年)が見事優勝し、8月に東京都の日本棋院で行われる『文部科学大臣杯全国少年少女囲碁大会』への出場を決めた。

津曲君に囲碁を始めたきっかけを聞くと「小学2年生のときに、従兄弟と囲碁の勝負をして負けたことがとても悔しくて、強くなりたいと思って習い始めました。」と、優しい顔に似合わず負けん気の強いこたえが返ってきた。次に、今回の優勝を一番喜んだのは誰かと尋ねると「1番は自分で、2番は囲碁の練習に毎回送り迎えをしてくれているお母さん(写真左から3人目)」と、笑顔でこたえてくれた。



『まだまだ若いもんには負けん！』

6月26日(木)、東京都の文京シビックセンターで行われた平成20年度全国シルバー人材センター定期総会において、大崎町シルバー人材センターが、会員に登録されている人の就業率が高いこと(7年連続100%)や、仕事中的事故・ケガなどによる長期治療を要する事故が極めて少ないこと(6月30日現在、944日無事故無災害記録継続中)などが高い評価を受け、全国表彰を受けました。

大崎町シルバー人材センターでは現在、約240名の会員が若者に負けじと元気に働いています。最高年齢は87歳の方もいらっしゃいます。ぜひ、あなたも、その有り余るパワーをシルバー人材センターで活かしてみませんか？

『大崎中女子バレー部が念願の初制覇！』

6月7日から9日までの3日間、桜島総合体育館で行われた『第33回県下中学校バレーボール大会』で、大崎中学校女子バレーボール部が1回戦から決勝戦まで1セットも落とさないストレート勝ちで完全優勝！県大会初制覇を達成しました。

主将の栞山早紀さんは「みんながひとつになって、とても楽しいバレーができました。」と笑顔でこたえてくれました。顧問の田代裕久先生は「生徒達が毎日の厳しい練習に耐えてついてきてくれました。試合では生徒と一緒にガッツポーズをしていました。」と、照れくさそうに話していました。県大会初制覇、本当におめでとうございます。

